

第六次亘理名取地区広域行政計画 概要版

この計画は、仙台都市圏（6市7町1村から構成）の南部ゾーンに位置する名取市、岩沼市、亘理町、山元町の2市2町の行政圏域を計画の対象地域とし、本圏域として今後取り組むべき基本理念や将来像を共有するとともに、その実現に向け、今後10年間において構成市町が連携して取り組むべき事項を中心に、施策の方向性を明らかにするものです。

◆計画の構成等

◇構成

- ①総論（計画の趣旨、時代の潮流と対応課題、圏域の特色と動向）
- ②基本構想（圏域の将来像、将来像を実現するための施策の大綱）
- ③基本計画（施策大綱に沿った施策体系）

◇計画期間

令和5年度～令和14年度（10カ年計画）

◆基本計画

施策の大綱 [将来像を実現するための施策]	基本計画 [基本構想で示した施策の大綱に基づいて推進する主要な施策]
1. 地域公共ネットワークを生かした国内外の交流人口の拡大	①広域観光の充実 ②復興を通じた交流人口の拡大 ③文化・芸術やスポーツを活用した地域づくり
2. 新たな産業の創出と企業誘致による圏域の発展	①DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進と産業人材の確保 ②新たな産業拠点の形成 ③力強い農林水産業の推進
3. 世代や分野を超えて創出する地域共生社会	①保健・医療体制の充実 ②高齢者福祉・障がい者福祉の充実 ③子育て支援の充実 ④多様性が尊重される環境づくり ⑤被災者支援・地域コミュニティ支援
4. 災害の経験と教訓を生かした安全・安心な圏域づくり	①広域交通ネットワーク・幹線道路網の整備促進 ②河川の整備促進 ③空港を生かした圏域づくり
5. 自然と調和した持続可能なまちづくり	①脱炭素に向けた取り組み ②資源循環型のまちづくりと豊かな自然との共生

◆圏域づくりの基本理念

安全で安心できる豊かな圏域づくり

仙台湾に面する風光明媚な海岸線、豊かな自然の恵みから授かる地場の食材、そして東日本大震災を教訓に築き上げた防災インフラは、本圏域での暮らしやすさを実感させてくれます。

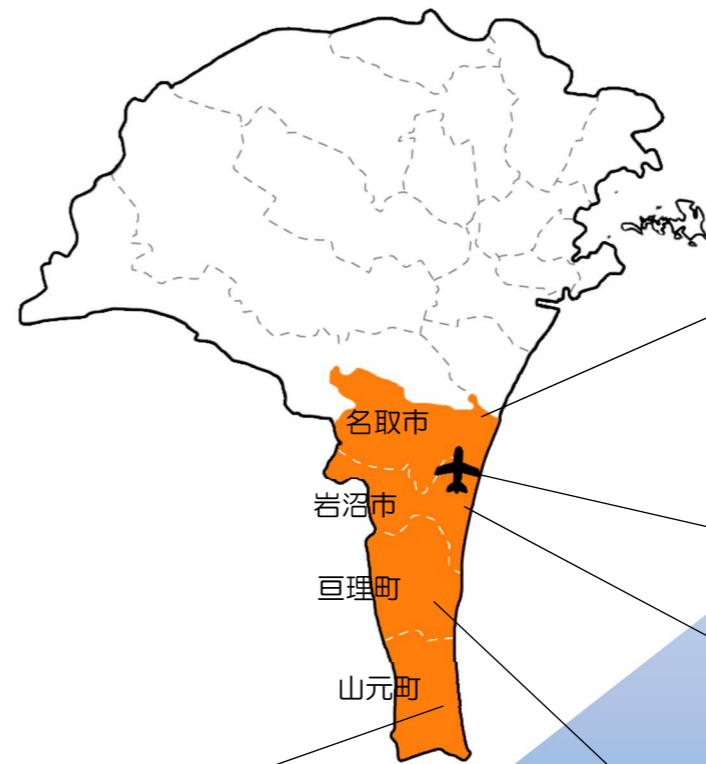
この素晴らしい自然環境と共存しながら、地域経済や交流活動の活性化につなげるとともに、自治体の枠を超えた魅力ある圏域づくりを推進します。

◆圏域の将来像

豊かな自然と恵まれた広域的アクセスを生かした、魅力と活力あふれる圏域

本圏域では、未曾有の大災害の経験と教訓を生かした災害に強い安全で安心なまちづくりに取り組んできました。その中でも、豊かな自然と共存したまちづくりを推進できたことは、仙台空港や高速道路、鉄道、復興道路（県道）といった広域交通ネットワークが恵まれていたためです。

今後は、それらを活かした交流人口や関係人口の拡大、そして新たな産業集積を進めていきます。また、持続可能な未来をつくるため、少子高齢化による人口減少や環境保全、安全で安心できる地域づくりといった諸問題への対応とあわせて、カーボンニュートラルやDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、先進的な圏域づくりを進めます。



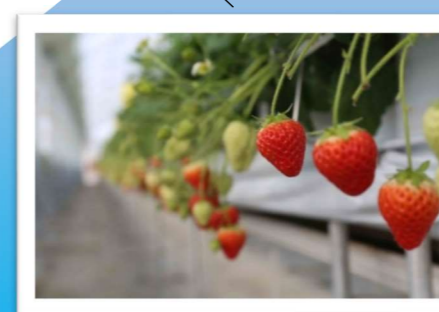
かわまちてらす関上（名取市）



仙台空港（名取市・岩沼市）



やまもとひまわり祭り（山元町）



東北一の生産量を誇るいちご（亘理町）



千年希望の丘（岩沼市）